

The Episode of Oil Massage③頸椎の前スレで開口不能！

体質研究所主宰 松原秀樹

私が開業して間もない頃、当時 60 代の塗装屋の男性が、口を開けられなくなったので診てほしいと頼まれた。知り合いの飲み屋のママさんの旦那である。

早速来てもらって事情を伺うと、ずっと上を向いて屋根の裏側にペンキを塗っていたら、首が痛くなって口を開けられなくなったという。口を開けないから何も食べられないし、飲むのもストローを使わないと飲めない。都内のある大学病院で検査したら、「頸椎の 1 番 2 番が“前に”ずれたことが原因だ」と分かった。しかし「こんな例は診たことがないから、どうしたらよいか分からない」と言われた。

「首のバキバキ以外は何をしても構わない」と言うので、首から頭部全体をオイル漬けにするほどたっぷりオイルを擦り込んだ。ちょうど短髪だったので、頭皮全体をオイルマッサージするのは楽だった。全身の整体と合わせて、頭部全体のオイルマッサージを毎日続けて、次第に口が空けられるようになっていった。そして約 1 ヶ月でほぼ完治してしまった。

すると今度は奥様が、左肩が痛いので診てほしいと頼まれた。背中を触ったら、異常な硬さのシコリが肩甲骨の箇所にあった。「何ですか？このシコリは」とお聞きしたら、「それは出産した時にできた」という。

出産時にパイプベッドのパイプを握る力で、肩の筋肉が肉離れしたのが原因で、それ以来 30 年経っても、そのシコリが消えないまま残っていたのだ。そしてそのシコリが、肩や首の動きをずっと悪くしていた。

さっそく肩背部に、たっぷりオイルを擦りこんだ。その後も何ヶ月か継続してオイルマッサージを続けていったら、徐々にシコリが解けるように消えていった。

傷跡やシコリというのは、酸化して硬化したタンパク質が蓄積したもので、放置しておくと何十年経ってもそのままなのだ。そしてその傷跡やシコリが、他の箇所に痛みや病変を起こす原因となるのだ。だから放置しておくのは良くない。たとえ何十年も前にできた傷跡やシコリでも、オイルマッサージを毎日続けてすると、酸化したタンパク質が徐々にリンパに排泄されて、次第に柔らかくなっていくのである。